

初等科

企画課管理用 教 ー A ー 2

推進主体	初等科
責任者	教頭

分類	実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
教 ー A	歴史と伝統を礎とする心を育てる歴史教育の充実	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容

学習院の教育の本質の部分を理解するには、学習院の建学の精神や学習院を発展させるためにいかなる努力がなされてきたかを理解することが望ましい。これは、学習院のミッション「ひろい視野」を育むため、まずは自分の立ち位置すなわち自分の足元についてよく知って理解し、それをもとに国際的な視野を広げていくことにつながる。

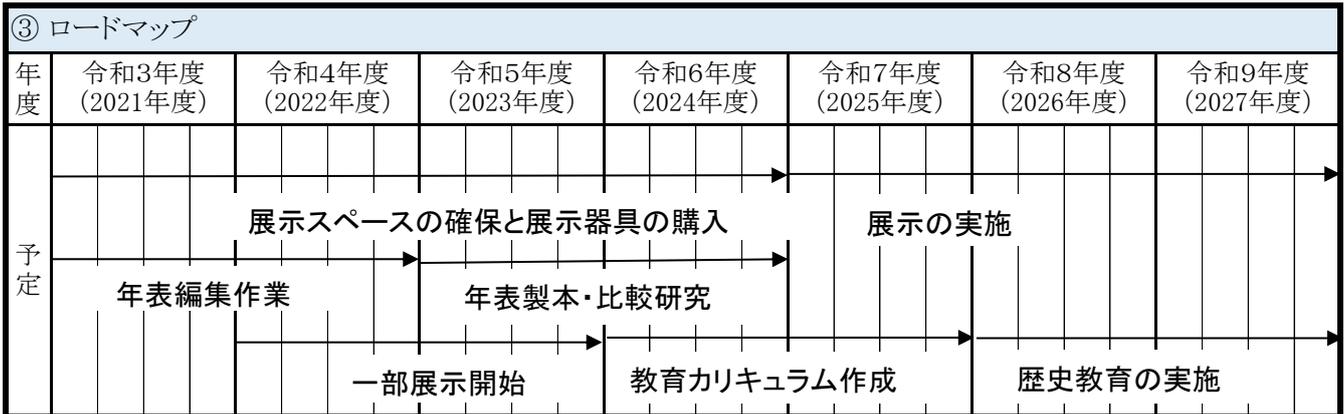
初等科の歴史的な資料を整備し、分かりやすい形で継承し、それを児童に学習させ意識させることも、その一つである。そこで、初等科にある皇室ゆかりの品や全国で初めて使われたランドセルなど貴重な品の常設展示を行い、現行の歴史教育をさらに充実させることにより、児童に自分のいる学校の歴史を認識させ、自分の立ち位置を説明できるようにさせる。また、校庭の歴史遺産の整備を施設営繕計画の中で検討する。

さらに、平成元年から31年の初等科の平成の歴史年表を作る。昭和の歴史年表と比較し、令和の時代の飛躍を実現させる手がかりとしたい。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

歴史展示場所・スペースの選定と確保、展示器具の購入・設置を行う。(保管場所の整備、校庭の歴史資料展示については別途施設営繕予算等で予算化する。)

また、平成年表(B5 表紙+本文100p 100部 モノクロ印刷)の編纂を行う。



④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	計画と実施内容の達成率	計画・実施内容の達成率 実施実績/実施計画					
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
(2022年度) 令和4年度	児童の学校の歴史に対する自覚を促すために、歴史展示場所と展示用品を確保し、企画展示を始める。	史料を保存する収蔵庫とするために、地下の集会室の整備を進めると共に、収蔵庫について施設部と打ち合わせを実施した。収蔵庫の工事は、令和6年度に施設部の予算を使い行うことになった。 初等科にある皇室ゆかりの、机と椅子については、展示した際に、実際に座らせることを想定し、レプリカを作ることにし発注をした。 展示基本計画についても、業者から情報や助言を得て、展示内容・展示手法について検討を進めた。来年度は、さらに具体化させていく必要がある。
(2023年度) 令和5年度	地下の集会室の整備をさらに進める。教員用の図書については、他の場所への移動、学習院大学図書館へ移管等を図書部の協力で進める。 収蔵庫内に必要な什器を検討し、令和6年度に向けて予算化する。 展示基本計画をさらに推し進める。	歴史資料収蔵庫の整備が決定した(令和6年8月)。また、歴史資料の搬入に向けて、収蔵方法、燻蒸、防虫処理及び什器の選定等を検討した。什器に関しては、令和6年度に予算化することができた。課題としては、本科に、歴史資料保管、処理等について専門的な知識を有する者がいないことが挙げられる。そのため、学習院アーカイブズの指導・助言を得ながら進める必要がある。展示基本計画については、展示内容・方法について、他校の事例や業者からの提案をもとに検討を進めた。来年度は、具体的に実施計画を策定する必要がある。
(2024年度) 令和6年度	・歴史資料収蔵庫の整備(躯体及び什器の設置)を進める。 ・学習院アーカイブズの協力のもと、収納方法や燻蒸、防虫・防カビ処理など歴史資料の適切な保存処置について検討し、令和7年度に向けて予算化する。 ・展示基本計画について、具体的な展示室整備計画を決定し、令和7年度に向けて予算化する。	成果は、以下三点である。①初等科地下の資料収蔵庫を整備したこと、②現社会科資料室に保管していた諸資料群(中性紙箱55箱分)のクリーニング作業及び資料収蔵庫への移管を完了したこと、③資料展示室の整備に関する業者選定及び基本デザイン案を決定したことである。 ①と②は学習院アーカイブズ、③は学習院大学史料館の指導・助言を受けることができた。今後の課題は、①資料収蔵庫内の什器の設置、②現社会科資料室に保管している残りの諸資料群のクリーニング及び収蔵庫への移管、③資料展示室の展示内容・手法の具体的検討および展示予定資料の収集・データ化である。
(2025年度) 令和7年度	・現社会科資料室内に残置されている資料群のクリーニング処理及び地下資料収蔵庫への移管 ・令和8年度夏季休業中に資料展示室の整備工事が実施できるよう、展示内容・手法の具体的検討と整備スケジュールの策定を踏まえた展示整備計画の決定及び予算化(施設部との調整必要) ・地下資料収蔵庫の什器購入と設置	